

いわきの

SAN KAKU SAN さんかくさん

編集委員より
笑顔がとても温かく
素敵なお夫妻です。



サンピノチオ
生亀 裕希雄さん
千枝子さん ご夫妻

サンピノチオ
いわき市平字南町61-1
080-1809-9437
水曜日定休



～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。

Q 生理用品の無料配布を行おうと思ったきっかけは？

A きっかけは女子中学生がコロナ禍で家計が厳しく、生理用品を買うのが大変だというネット番組を見たこと。父子家庭の子どもが、父親が失業して家計が厳しいため生理用品を買いたいと言えないと話している様子を見て「今の日本はそんな状況になっているんだ…」と感じました。次の日、お店のトイレに妻の生理用品を置いて誰でも使えるようにしよう、と何気ない夫婦の会話をSNSにアップしたところたくさん拡散されました。それを見た*「生理用品無料配布プロジェクト」から連絡があり、継続的に設置することになりました。

*「生理用品無料配布プロジェクト」とは、だれでも必要な時に無料で届けられるように寄付で購入した生理用品を全国の「無料スポット」に設置し、必要な人に気軽に受け取ってもらうプロジェクトです。

Q 配布を行って初めての反響やお店の変化は？

A 正直こんなに反響があるとは思いませんでした。困った人が相談してくれたり、生理用品に関する情報もどんどん集まるようになりました。年齢に関係なく、夫に生理や婦人科系の不調について話すことができず困っていることも知りました。貧困によって生理用品が手に入らない人だけではなく、必要な人に必要な支援が届くことが大切なのではないでしょうか。

Q どのような方法で寄付を受け付けているか？

A 当店は無料配布プロジェクトの一員で配布拠点の1つです。店内にプロジェクトの募金箱を設置して、募金を受け付けています。生理用品を持参いただくのも嬉しいです。先日、男子高校生5人組が募金をしてくれたり、20歳くらいと思われる男性が「初めて生理用品を買いました」と寄付をしてくれました。こういう行動をしてくれるのはとても嬉しかったです。今の若い男性はやさしいですね！

Q 市民の皆さんへのメッセージ

A フラットに生理について話せる場所が増えていけばいいですね。なかなか話せる場所がないから自分の病気に気付けなかったり、便利な生理用品を知らなかったりすることもあると思います。なかには生理用品の使い方を知らない子どももいて切ない気持ちになることがあります。生理用品をもらいにくるだけでもいいので、ここが気軽に話せるそんな場所になっていけたらいいですね。こういう場所を増やすためにどんなことができるか、興味のある方々にサンピノチオでお伝え出来ることもあると思いますので、ぜひお問い合わせください。

私のおすすめの一冊



家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった

岸田 奈美 (著)
小学館

作者の父は急逝、母は車いすユーザー、弟はダウン症。
たくましく生きていく姿に、他人にやさしく、温かい気持ちになれる一冊です。

いわきのさんかくさん 募集

男女共同参画センターでは、「いわきのさんかくさん」を募集しています。
自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで

wing

いわき市男女共同参画情報紙 ウィンガー
vol.56 2022年3月 発行

編集長：加藤 藤子
編集委員：小林美智子 三戸花菜子
鈴木かおり 芳賀 順子

いわき市女性活躍推進ポータルサイト

URL <http://www.city.iwaki.lg.jp/josei-katsuyaku-suishin.html>

情報紙「wing」の無料ダウンロードが当サイトからできます。

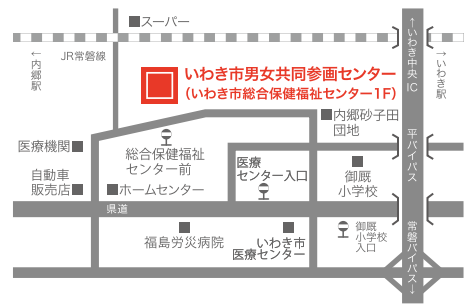


あなたもwingに参加してみませんか。
ご意見・ご感想をぜひお寄せください。次回は10月発行

表紙写真：芳賀順子「セルフ・ポートレート(自画像)」

発行：いわき市 市民協働部 男女共同参画センター
〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田191番地
tel.0246-27-8694 fax.0246-27-8641
E-mail : danjokyodosankaku@city.iwaki.lg.jp

いわき市男女共同参画センターでは、男女共同参画社会についての啓発、人材育成、情報収集・提供、活動・交流支援を行なっています。



UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。